

分野連携企画報告書

行事（企画）名

エネルギー分野における保守、保全の連携セッション

行事URL <https://www.jsme.or.jp/conference/pes27/index.html> (第27回動力・エネルギー技術シンポジウム)
<https://www.jsme.or.jp/conference/mmdconf23/index.html> (M&M 2023 材料力学カンファレンス)

1.開催日・会場 2023.9.20,21 東京海洋大学 越中島キャンパス (第27回動力・エネルギー技術シンポジウム)
2023.9.27～29 筑波大学 筑波キャンパス (M&M 2023 材料力学カンファレンス)

3.企画内容

- ▶ 以下を動力エネ部門と材力部門の連携セッションとして企画
 - ・動力・エネルギー技術シンポ「保全・設備診断技術」
 - ・M&M2023「供用エネルギー及び化学プラント機器の経年変化と健全性評価」
- ▶ 学会横断テーマ「機械・インフラ設備の保守・保全」の視点を織り込み、部門の垣根を超えて講演募集
- ▶ 両部門へのインフォメーションメールで新規参加者を開拓
- ▶ 講演会終了後に連携セッション実行委員会を開催し、連携効果と課題抽出を議論

4.連携の成果

- ▶ 相手側部門からの参加者増加、特に学术界からの参加者増加
- ▶ 「機械・インフラ設備の保守・保全」の視点での講演あり、学会横断テーマを深掘する切っ掛け
- ▶ 動力・エネルギー技術シンポジウムでは“オンラインメンテナンス”に関するパネル討論セッションの場としても活用
- ▶ インフラ設備の規格に関連する研究紹介として、材料力学部門から疲労評価に関する発表あり
- ▶ 連携セッションでは活発な議論がなされ成功裡に終了

2.企画部門

動力エネルギーシステム部門 & 材料力学部門

5.今後の課題（苦労した点、課題点、他の企画へのアドバイス等）

- ▶ 本企画は保守・保全、設備診断に関する具体的な議論の場を提供することを目的として、2021年度に開始した。連携セッションを企画・運営する独自の実行委員会を立ち上げ活動中。両部門の人脈構築に貢献している。
- ▶ 今年度は、動力エネ技術シンポの翌週にM&M2023開催となり、参加者の増加、特に参加を募集した相手側部門からの参加が大きくは望めないのではという懸念があり。
- ▶ 結果的に連携セッションの参加者は従来並みで、相手側部門からの参加者も見受けられたが、講演会の間隔を開ける等、可能な限り日程を考慮したほうがよい。
- ▶ 新企画の一つとして、M&M2023で動力エネ部門の最新技術動向を紹介する基調講演を計画したが、講演候補者の日程が合わず残念ながら断念。複数の候補テーマを挙げてスケジュール調整していくことが今後の課題。
- ▶ 講演会后、実行委員会による反省会/意見交換会を開催。連携継続の重要性を再確認し、次年度も連携セッションを企画予定。
- ▶ 本企画をさらに発展させる案として、材力部門のシーズ提供として「確率論的破壊評価」をテーマに、動力エネ技術シンポで基調講演を計画。一方、ニーズ提供として材料力学カンファレンスでは、動力エネルギーシステムの最新動向に関する基調講演を計画する。